

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	環境活動支援事業		
事業担当	環境部 環境政策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'01	①〈自然との共生〉四季を通じて豊かな恵みを与えてくれる自然と親しむ	
	'01	1 自然を守るしくみづくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	環境分野の市民活動団体、市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 環境ファンクラブ】		
	目的・目標		事業の概要
環境の保全や創造の重要性に気付き、考え、それぞれの立場に応じて自発的、積極的に行動する市民、市民団体、事業者が、活発な環境保全活動を行うとともに、先導的な取組みを広域的に発信しています。		環境ファンクラブ登録会員のネットワーク化を図るため活動発表会等を開催するとともに、環境団体等の活動の活性化を図るため団体活動等を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	活動発表会等開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標	4	4	4	4		
	実績	4	4	4			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	環境ファンクラブ登録会員数				単位	人
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標	100	120	140	160		
	実績	95	98	102			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成25年度の主な取組と成果							
環境ファンクラブ会員によるパネル展示や環境教室の開催等、環境活動実践者の支援・拡大や会員相互の交流を図りました。また、環境活動に取り組む団体を対象に資金面で支援する環境活動支援事業を実施しました。さらに、緑化まつりでは環境教室を6教室(約2,200人参加)開催したほか、ゴーヤ、ひまわり、スイフヨウの苗等を配布しました。							
平成25年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民が主体となった環境活動を促進していくため、環境ファンクラブ等との協働により推進していく本事業には、市が関与する必要があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	環境ファンクラブ会員相互の交流やイベントへの出展、環境教室の開催等により、活動の輪が広がり、レベルアップも図られています。市民活動団体と市との協働も実践できています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	活動の発展・拡大に伴い、事務局機能や専門機関とのコーディネート等を担う職員の業務が増えています。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事務局機能を含め、市民活動団体と市との役割分担について、更に検討していく余地があります。また、環境活動支援事業については、今後、他の支援策と調整していく必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 市民活動の活性化を図るためには新規会員を増やす必要があるため、環境ファンクラブに入会することのメリットをより市民に対して発信していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		活動発表会、研修会の開催等及び団体等の支援	活動発表会、研修会開催等及び団体等支援	活動発表会、研修会開催等及び団体等支援	活動発表会、研修会開催等及び団体等支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	195	193	184	180
事業費 (A)		195	193	184	180
執行率 (%)		100.00	99.48	100.00	
内訳	職員 (人)	0.42	0.41	0.35	0.30
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		3,404	3,287	2,782	2,344
フルコスト (A+B)		3,599	3,480	2,966	2,524

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 市民活動団体等と市との役割分担や事業の推進方法等を見直しながら、事業内容の充実を図ります。
課長コメント 地球温暖化をはじめとする環境問題は、市民・事業者が自ら取り組むべき課題として認識し、自主自律的な実践行動が求められています。市民・事業者・市の役割分担や連携、取組み方法などを検討し、事業の充実・発展を図ります。